

－平成28年度－
事業及び決算報告書



シンボルマーク

公益社団法人紀の国被害者支援センター

< 事業報告書 >

1. 基本方針

犯罪被害者等は、犯罪による直接的な被害だけでなく、その後に生じる様々な問題により精神的被害等多くの被害に苦しめられます。

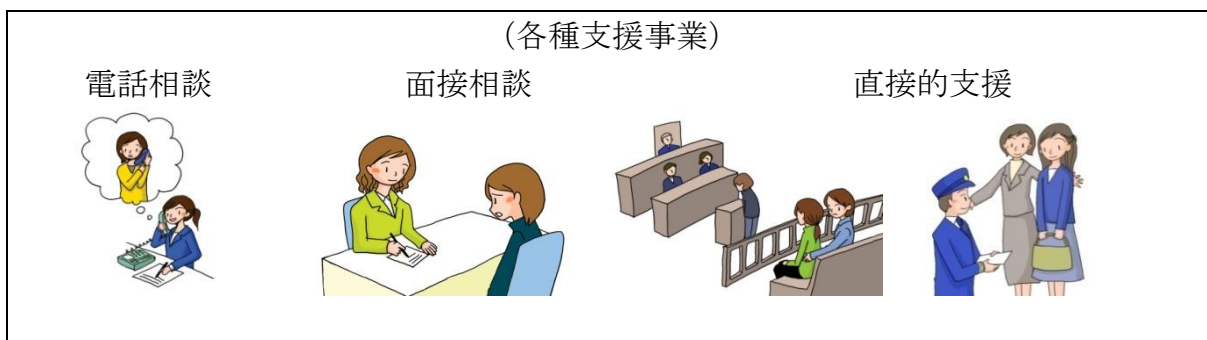
犯罪被害者等がこうした被害から回復し、再び平穏な生活を営めるようになるため、「犯罪被害者等早期援助団体」として、被害直後から各支援機関と連携し総合的な被害者支援活動（公益事業Ⅰ）に取り組みました。

併せて、被害者支援を支える人材育成事業（公益事業Ⅱ）・被害に遭われた方々の置かれている状況や犯罪被害者支援の必要性を広く県民に知っていただくための広報啓発活動（公益事業Ⅲ）に取り組みました。

2. 事業内容

（1）公益事業Ⅰ－支援

～電話・面接相談及び付添等の直接的支援活動等の各種支援事業に取り組みました。



（支援結果）

	電話相談	面接相談	直接的支援	計
全 体	336	51	56	443
事案別取扱件数（電話相談・面接相談・直接的支援）				
身体犯：殺人（含む傷害致死）・強盗（致死傷）	83			
身体犯：強姦・強制わいせつ・その他の性被害	121			

身体犯：暴行障害・その他の 身体障害	38			
交通事故：交通死亡事故・交 通事故	96			
DV	52			
ストーカー	6			
その他	47			
市町村別取扱件数				
和歌山市	72	10	20	102
岩出市	9	1		10
紀の川市	23	5	11	39
橋本市	56	14	12	82
海南市				
有田市				
御坊市	12	2		14
田辺市	58	9	8	75
新宮市				
紀美野町				
かつらぎ町				
九度山町	1			1
高野町				
湯浅町	2			2
広川町	1			1
有田川町	3	1		4
美浜町				
日高町				
由良町				
印南町				
みなべ町	56	6	4	66
日高川町				
白浜町	2			2
上富田町	5	2	1	8
すさみ町				
那智勝浦町	2			2
太地町				

古座川町	1			1
北山村				
串本町	1			1
県外・不明	32	1		33

1日移動無料相談の実施

実施日	会場	事案対応件数
田辺市 5/14 (土) 10:00~16:00	田辺市民総合センター	電話・面接取扱件数12件
橋本市 5/28 (土) 10:00~16:00	橋本市教育文化会館	
田辺市 10/8 (土) 10:00~16:00	田辺市民総合センター	電話・面接取扱件数6件
橋本市 11/5 (土) 10:00~16:00	橋本市民会館	

(2) 公益事業Ⅱ－研修

- ～犯罪被害相談員等の養成及び研各種修事業に取り組みました
- ・支援活動員養成研修「前・後期・専門コース」(15期生)の開催
 - ・フォローアップ研修(14・15期生)の開催
 - ・継続研修(1～13期生)の開催
 - ・全国被害者支援ネットワーク主催の近畿ブロック上半期研修へ3名・下半期研修へ4名及び全国研修へ3名を派遣

研修名	内 容		会場
紀の国被害者支援センター主催			
支援活動員養成研修 (前期)	被害者支援－入門編 (15期生)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日(3日間) 6/11・25・7/2 ・講義時間:延11時間 30分 ・申込者19名 ・受講者18名 	和歌山市 (中央コミュニティーセンター)
支援活動員養成研修 (後期)	被害者支援－入門編 (15期生)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日(2日間) 7/9・10 ・講義時間:延10時 	和歌山市 (中央コミュニティーセ

		間30分 ・受講者16名	ンター)
支援活動員養成研修 (専門コース)	被害者支援ー初級編 (15期生)	・開催日(6日間) 8/19・9/16・10/21・11/18・12/16・1/20 ・講義時間:延30時間 30分 ・受講者14名	和歌山市 (中央コミュニティーセンター他)
	*ボランティア支援員へ登録した者 8名(男性3名・女性5名)		
フォローアップ研修			
継続研修	支援スキル向上研修ーそのI (1~14期生)	・開催日(4日間) 8/7・10/1・12/10・2/4 ・講義時間:延9時間 ・受講者19名(8/7) " 20名(10/1) " 名(12/10) " 名(2/4)	センター研修室
支援対応検討会	支援スキル向上研修ーそのII (直接支援員以上)	・開催日(3日間) 6/27 講義時間:2時間 受講者19名 9/9 講義時間:2時間 受講者14名 1/ 講義時間:2時間 受講者20名	
全国被害者支援ネットワーク主催			
「質の向上研修」	(上半期) 所管:ひょうご被害者支援	7/16(土)~17(日) ・派遣人員3名	

	センター		
	(下半期) 所管：京都犯罪被害者支援センター	2月 ・派遣人員4名	
「秋期全国研修」	東京都	9/30(金)・10/1(土)～2(日) ・派遣人員3名	

(3) 公益事業Ⅲ－広報啓発

～犯罪被害者等の置かれている現状や支援の必要性を広く県民に知らせる広報啓発事業に取り組みました。

- ・「犯罪被害者週間」を中心に講演会・街頭啓発・募金活動・広報ツールの制作等多様な広報啓発活動

項目	内容		備考
「広報ツール」の制作	・啓発用チラシの印刷	3,000枚	*30市町村の窓口へ設置
	・啓発グッズ(マスク)の制作	10,000ヶ	
	・パネル5枚組セット	5枚	
	・ポスター	300枚	
「広報誌」の制作	・第1回目発行1月(500部)		
「講演会&コンサート」の開催	・11月25日(金)紀南文化会館小ホール “被害者支援講演会&箏コンサート” テーマ：－地域で取り組む被害者支援－		
「街頭啓発」の実施	・本年度も街頭啓発に代えて県内30市町村の窓口に啓発用チラシ・グッズ(マスク)を設置し来庁者に自由に持ち帰っていただきました。 ・12/4(和歌山市中央広場10:00～16:00)		
「命の授業」の開催(警察との共催事業)	・7/1 箕島中・7/5 下津第二中・7/6 耐久中・7/7 初島中・7/19 東高校・7/20 海南中・9/29 紀見東中・12 県立高等看護学院・3/13 東高校の9校で開催		
「街頭募金含む啓発活動」の実施	・11月12日(土)13:00～ 田辺市オークワオーシティー *募金額： 円		

「出前講座」の開催	・テーマ：地域で取り組む被害者支援 田辺市地域 (龍神村 / ・中辺路 9/14・大塔村 10/4・本宮 11/8)
「移動パネル展」の開催	・開催市町村 和歌山市 (10/3～10/14)・白浜町 ()・みなべ町 (8/25～9/1)・上富田町 (10/17～10/21)・田辺市 (11/18～11/24)
「人権フェスタ」へ参加	・11/19 (ビッグホール)
HP	・情報発信中！ http://wakayama-kvsc.jp *平成29年度予算で全面リニューアル予定
フェイスブック	・情報発信中！ http://www.facebook.com/kvscwakayama

(4) その他：ファンドレイジング（自主財源）確保活動の展開

～ファンドレイジング（自主財源）3カ年（H28～30）計画に基づいて、
「企業・各種団体を中心に賛助会員の確保や寄附金集め・募金箱の設置・犯罪被害者支援自動販売機の設置・ホンデリングの実施」等自主財源確保のための活動を展開しました。

<その一 正会員・賛助会員及び寄附者の確保>

【会 員】

会員名	法人年会費	個人年会費
正会員	30,000円	10,000円
賛助会員	10,000円	2,000円

【賛助会員及び寄附者の確保3ヶ年（H28～30）計画】

3カ年計画に基づいて、2期計画1年目の平成28年度は、ファンドレイザー（事務局長兼務）1名を雇用し、田辺市を中心に西牟婁地域で広報啓発事業（講演会&コンサート・出前講座・移動パネル展・街頭啓発を兼ねた街頭募金活動）を展開し、紀南地域への第2の拠点設置に向けた環境づくりを行うと伴に、本県初の上富田町の犯罪被害者支援に特化した「条例」制定に向けた取り組みへの協力及びファンドレイジングに取り組みました。

(広報啓発活動)

講演会&コンサートの開催	・11月25日（金）紀南文化会館小ホール “被害者支援講演会&箏コンサート” テーマ：ー地域で取り組む被害者支援ー
街頭募金を含む啓発	・11月12日（土）13：00～

活動の実施	田辺市オークワオーシティー *募金額： 円
「出前講座」の開催	・テーマ：地域で取り組む被害者支援 田辺市地域 (龍神村 / ・中辺路9/14・大塔村10/4・本宮11/8)
「移動パネル展」の開催	・開催市町村 和歌山市(10/3～10/14)・白浜町()・みなべ町(8/25～9/1)・上富田町(10/17～10/21)・田辺市(11/18～11/24)

(ファンドレイジング)

月	内容
7月～11月	・本年度は紀南地域(特に田辺市)への犯罪被害者支援PR活動を集中的に展開(「出前講座」の開催(4ヶ所)・「移動パネル展」の開催(5ヶ所)・街頭啓発を兼ねた「街頭募金」活動(1ヶ所)・「被害者支援講演&コンサート」の開催)し、その結果をファンドレイジングに結び付けていく
9月	・市町村との連携・・・30市町村に対しを各種財政支援等を文書で依頼(平成29年度財政援助・支援条例の制定・ホンデリングへの参画と広報紙掲載依頼・支援自販機の設置と広報紙掲載依頼・支援募金箱の設置・3市(海南市・岩出市・紀の川市)への助成金復活依頼)
11月	・平成28年度民間企業・団体等訪問予定先リスト・支援依頼内容等の作成：訪問依頼先は田辺市を中心に西牟婁地域とする <p style="text-align: center;"><田辺・西牟婁地域企業一覧表></p> (市町村別民間企業－105企業・団体)～帝国データバンク資料(売上高)35社・帝国データバンク資料企業34社・人権企業登録(自動車学校3社は「自販機」の設置依頼のみ)19社・道の駅13社・従業員50人以上の企業4社(以上の各企業等は「賛助会員」への加入及び「自販機」の設置依頼) (「自販機」の設置依頼)～西牟婁地域高校関係－7校 (「募金箱」の設置依頼)～西牟婁地域コンビニ関係－44ヶ所 (「募金箱」の設置依頼)～県内病院関係－13病院 (「募金箱」の設置依頼)～県内銀行本店及び西牟婁地域各銀行支店関係－43銀行
12月	・イオンシートキャンペーン申請依頼 (平成29年4月から毎月11日のイオンデーに参加決定) ・民間企業・団体等訪問予定先へ訪問依頼の文書を発送

(実施結果)

平成28年度2月分ファンドレイジング実施状況 (田辺市)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J A紀南農業協同組合	朝日が丘 24-17	1月	文書依頼	2月7日 8:55~9:20	3月22日 「賛助会員」 (加入)	1/20 文書にて依頼 1/28 電話にて訪問予約 2/7 久保総務課長訪問 ~賛助会員への加入・自販機及び募金箱設置を要望 2/28 電話確認: 役員会で賛助会員へは加入・自販機及び募金箱設置は拒否の回答 3/22 (14:17) 訪問集金-H29 賛助会費納入

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況 (和歌山市)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	ダイキョーリフォーム	手平 1-8-12	3月	電話依頼	3月14日 (火) 8:00~8:20		3/6 有田監事の紹介で電話依頼・訪問予約 3/14 湯川代表取締役を訪問(賛助会員への加入・自販機設置を要望) *要望内容を電話確認予定
2	J Aわかやま	栗栖 642	3月	電話依頼	3月14日 (火) 9:55~10:15		3/6 J A紀南農業協同組合訪問(2/7)を機会に県内J A訪問を計画し電話依頼 3/14 船井達哉総務課長訪問(賛助会員への加入・自販機及び募金箱の設置要望) *要望内容を電話確認予定

3	和歌山電機製作所	延時 17	3 月	電話依頼	3 月 24 日 (金) 9 : 50 ~ 10 : 15		3/6 有田監事の紹介で 電話依頼・訪問予約 3/24 打越功会長訪問 (賛 助会員への加入・自 販機の設置要望 * 要望内容を電話 確認予定
4	(株) 岩本商店		3 月	電話依頼			3/6 有田監事の紹介で 電話依頼 (訪問スケ ジュール調整中)

平成 28 年度 3 月分ファンドレイジング実施状況 (紀の川市)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J A 紀の里	上野 12 -5	3 月	電話依頼	3 月 17 日 (金) 14 : 20 ~ 14 : 45		3/6 J A 紀南農業協同 組合訪問 (2/7) を 機会に県内 J A 訪 問を計画し電話依 頼 3/17 林宏信総合企画部 長代理訪問 (賛助会 員への加入・自販機 及び募金箱の設置 要望) ・役員会へ報告する ことになり後日電 話確認することと なった。 3/28 電話にて「賛助会 員」加入を確認 4 月日 賛助会費集金

平成 28 年度 3 月分ファンドレイジング実施状況 (上富田町)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	上富田町商工 会	朝来 763	1 月	文書依頼	3 月 16 日 (木) 9 : 50 ~ 10 : 10		1/20 文書にて依頼 3/6 電話にて訪問予約 3/16 和田幸太郎事務局 長訪問 (役員会へ報 告する (賛助会員へ

							の加入・自販機の設置) ことになり後日電話にて確認することとなった。) *要望内容を電話確認予定
2	NTN紀南製作所	生馬 2504-1	1月	文書依頼	3月22日 (水) 9:55~10:15		1/20 文書にて依頼 3/6 電話にて訪問予約 3/22 芝歳久総務課長訪問(役員会へ報告する(賛助会員への加入・自販機の設置) ことになり後日電話にて確認することとなった。) *要望内容を電話確認予定
3	プラム食品	生馬 1474-1	1月	文書依頼	3月22日 (水) 12:55~13:15		1/20 文書にて依頼 3/6 電話にて訪問予約 3/22 樫山総務部主任訪問(役員会へ報告する(賛助会員への加入・自販機の設置) ことになり後日電話にて確認することとなった。) *要望内容を電話確認予定
4	上富田町役場		3月	電話依頼	3月22日 (水) 15:15~16:15	自販機の設置(不可)	3/6 電話にて条例制定関連打合せを含め訪問予約 3/22 中林秀夫住民生活課生活G訪問(条例関係の打合せ及び自販機の設置を依頼・後日回答予定) 3/29 電話にて関係課と協議するも設置不可の回答
5	田辺米穀ほか 6社		3月	電話依頼	3/6 電話にて4月以降の訪問について再協議		
6	熊野高等学校		1月	文書依頼			3/6 電話依頼(自販機については学校側

							はノータッチのため自販機管理業者と再協議)
--	--	--	--	--	--	--	-----------------------

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況 (橋本市)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J A紀北かわ かみ	高野口 町名古屋 曾 922- 2	3月	電話依頼	3月17日 (金) 9:50~10: 15	3月24日 「賛助会 員」 (加入)	3/6 J A紀南農業協同 組合訪問(2/7)を機 会に県内J A訪問 を計画し電話依頼 3/17 北浦恵樹総務課長 訪問(賛助会員への 加入・自販機及び募 金箱の設置要望) 役員会へ報告する (賛助会員への加 入・自販機及び募金 箱の設置)ことになり 後日電話にて確認 することとなった。 3/21 電話にて「賛助会 員」加入を確認 3/24 13:00 訪問集金-H29 賛 助会費納入

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況 (海南市)

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J Aながみね	大野中 718-1	3月	電話依頼	3月17日 (金) 12:55~13:20		3/6 J A紀南農業協 同組合訪問(2/7) を機会に県内J A 訪問を計画し電話 依頼 3/17 西原総務課長訪問 (賛助会員への加 入・自販機及び募金 箱の設置要望)役員 会へ報告する(賛助 会員への加入・自 販機及び募金箱の 設置)ことになり後 日電話にて確認す

							ることとなった。 * 要望内容を電話 確認予定
--	--	--	--	--	--	--	-------------------------------

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況（御坊市）

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J A紀州		3月	電話依頼			3/6 電話依頼(4月以降 の訪問でスケジュー ール調整)

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況（那智勝浦町）

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	J Aみくまの		3月	電話依頼			3/6 電話依頼(4月以降 の訪問でスケジュー ール調整)

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況（串本町）

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	串本高等学校		1月	文書依頼		自販機設置 (不可)	3/6 電話依頼（自販 機を管理している 事務長から設置に ついて拒否)

平成28年度3月分ファンドレイジング実施状況（田辺市）

番号	名称	所在地	初回実施		訪問日	終了日	
			実施日	方法			
1	田辺高等学校		1月	文書依頼		自販機設置 (不可)	3/6 電話依頼（自販 機設置について 事務長から拒否)
2	神島高等学校		1月	文書依頼		自販機設置 (不可)	3/6 電話依頼（自販機 を管理している 育友会会長から 設置について拒 否)
3	田辺工業高校 竜神分校		1月	文書依頼			3/6 電話依頼（自販 機については学

							校側はノータッチのため自販機管理業者と再協議)
--	--	--	--	--	--	--	-------------------------

<その二 紀の国被害者支援センター「支援自動販売機」の設置>

【年度別支援自動販売機の設置及び寄付金受入れ状況】

支援自動販売機の設置	1台 (*設置総台数：60台)
寄付金受入れ状況	円

(参考)

H24	43台	1,310,608円
H25	43+7台=50台	1,614,088円
H26	50台+7台=57台	1,792,596円
H27	57台+2台=59台	1,846,659円



自販機は、県内全域に行きわたってオーバーフローぎみであるが、既存の自販機の切り替え（その場合は紀の国が制作したシールを添付。）も含め、自販機は実績のとおり大きな自主財源となっているので、オリジナル自販機を犯罪被害者支援の必要性を知ってもらう為の広告塔の役目を兼ね、全市町村に1台を目標に、設置に向け取り組みました。

<その三 紀の国被害者支援センター支援[募金箱]の設置>

	<p>当センターは「被害者支援募金箱」を制作しました。受付等に置いていただけませんか。貴重なご浄財は、お一人おひとりの様のお気持ちを大切に、被害者支援に使わせていただきます。</p>
--	---

○支援「募金箱」設置個所

支援「募金箱」新規設置	0台（*設置総台数8ヶ）
-------------	--------------

○募金の受け入れ

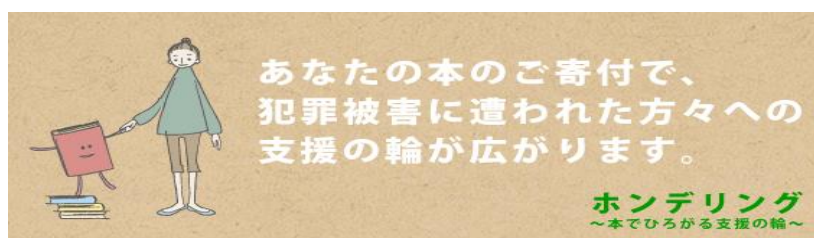
支援「募金箱」受け入れ寄附金	和歌山自動車学校	円
支援「募金箱」受け入れ寄附金		円

(参考)

地方公共団体名	設置数
橋本市役所	2ヶ
串本町役場	2ヶ
九度山町役場	1ヶ
岩出市役所	1ヶ
和歌山県自動車学校	1ヶ
山本勲氏（和歌山市）	1ヶ

引き続き、ファンドレイジング3ヶ年計画と連動し県内の公共団体等に設置の願をすることとしています。皆さま方のご協力宜しくお願ひします。

<その四 「ホンデリング」の実施>



「ホンデリング」とは、「本で広がる支援の輪」が広がって欲しいと願ってネーミングしたプロジェクト名で、読み終えた本を寄附する気軽に参加できる社会貢献の一つです。読み終えた本をバリューブックスへ送ることで、全国被害者支援ネットワークを通じて寄附者情報とともに寄附金が紀

の国被害者支援センターに入金され被害者支援活動に活かされます

「ホンデリング」取り組み状況

「ホンデリング」受け入れ状況	冊・円
----------------	-----

(参考)

年度	送付冊数	買い取り価格（寄付金として受入れ）
H25	819冊	12,745円
H26	4,815冊	81,950円
H27	4,759冊	46,385円

<その5 寄附者の立場に立った多彩なメニューの導入の検討>

平成29年度 イオンレシートキャンペーン（新規事業）の実施決定

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンとは、毎月11日の「イオン・デー」にお客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物（店内で販売されている品物）をイオンが各団体が希望する品物を寄贈する取り組みです。



<参 考 資 料>

～自主財源確保3ヵ年（H28～H30）計画～

(1) 犯罪被害者支援団体の自立に向けた基盤づくり：財政基盤強化のための資金調達を拡充させる活動

～停滞する地方経済の環境下でのファンドレイジングは、第1期3年計画では当センターにとって大変厳しい結果となりましたが、第2期3年計画では、3年後の財政基盤の確立を目指し、以下のとおり理事長を先頭に全員で取り組むこととします。

(計画)

～日本財団のモデル事業を実施（「寄附金集めのプロ集団ージャパングビング」との連携）する中で資金集めのノウハウを学びながら、3年後の財政基盤の確立を目指し、平成25年度に理事会内に立ち上げた「ファンドレイジングチーム」とファンドレイザーが連携し自主財源確保に努める。

○ファンドレイジング手法

1. ファンドレイジング手法1・・・正会員・賛助会員及び寄附者の確保

～第1期では、従業員数20人以上の企業を地域別（紀北地域256社・紀中、紀南地域391社・和歌山市、海南市地域880社）かつ市町村（字順）別にリストアップし、アポなし企業訪問を実施したが、紀の国被害者支援センターの存在を知ってもらえた効果があったが、紹介のない企業・団体ばかりの訪問なので、話は聞いてもらえるが会員への加入・自販機の設置に繋がらなかった。

第2期では、役員及び関係機関からの紹介者を通して企業訪問する手法を導入するとともに下記の通りターゲットを絞り、アポを入れた企業・団体を訪問する。必要に応じて、業種ごとの企業・団体説明会を開催する。

これらについては、「寄附金集めのプロ集団ージャパングビング」の指導を受けながら実施することとしている。

(ターゲット企業・団体)

<企業・団体別>

(和歌山県100年企業91・各種組合64・各種団体29・道の駅21・農協19・漁協9・生協12・ライオンズ22・ロータリー31・キワニスクラブ1・ソロプチミスト4・経済5団体46・上場企業7)

*他にも和歌山県人権尊重の社会づくり協定企業団体200研修会へ講師として参加

<地域別>

(和歌山市地域 1 8 5 ・ 紀北地域 4 1 ・ 紀中地域 6 6 ・ 紀南地域 7 7)

2. ファンドレイジング手段 2 被害者支援自販機の設置

3. ファンドレイジング手段 3 被害者支援募金箱の設置

4. ファンドレイジング手段 4 ホンデリングの実施

5. 寄附者の立場に立った多彩なメニューの導入の検討

- ・ H P から資金調達の情報発信方策の検討
- ・ パチンコ玉対策（県遊技協同組合との連携）
- ・ 遺贈寄附（信託銀行）
- ・ 香典返し寄附
- ・ コンビニ収納サービスの導入
- ・ クレジット決済寄附金受入れサービスの検討
- ・ 各種ポイント寄附手法の検討
- ・ 書き損葉書、未使用葉書（年賀状含む）、切手、未使用テレカ（使用中含む）の寄贈作戦
- ・ 贖罪寄附の検討
- ・ ヤマダ電機新聞無料広告との連携
- ・ 「街頭募金活動」回数を増やす、主催イベント会場での募金箱の設置
- ・ 共同募金会とのマッチング募金
- ・ ワンクリック募金活動
- ・ 経費節減の一環として企業等の協力による宣伝活動の展開（各事業所に無償広報を募集等） e t c

6. その他：県（3市含む）、民間団体助成金の確保

和歌山県遊技協同組合	和歌山県赤い羽根共同募金会
公益財団法人日工組社会安全財団	日本郵便株式会社
公益財団法人中央競馬主社会福祉財団	一般社団法人日本損害保険協会
公益財団法人矯正協会	公益財団法人 J K A
公益財団法人出光文化福祉財団	公益財団法人三菱商事復興支援財団
公益財団法人大同生命厚生事業団	

- ・ チャリティバザーの再開、チャリティコンサートの開催

(自主財源の確保目標)

～3ヶ年(H28～30)計画で収入予算に占める自主財源の割合を50%以上まで引き上げることとする。

参考：平成26年度決算から

・公的助成金 5,140,000円・民間助成金 3,580,000円

・自主財源 5,772,673円

・収入決算額 14,492,673円

*自主財源の収入決算に占める割合 39.86%



50.00%

*自主財源の収入決算に占める割合を50%以上に引き上げるには(1,500,000円以上)の自主財源の確保が必要となる。

	H26	H28	H29	H30	
自主財源の割合	40%	45%	50%	55%	
会費	764,000	764,000 60,000	764,000 120,000	764,000 180,000	3ヶ年で90人以上 *会費2千円
寄附金	3,064,441	3,064,441 400,000	3,064,441 800,000	3,064,441 1,200,000	3ヶ年で120社以上 *会費1万円
自販機	1,792,596	1,792,596 175,000	1,792,596 415,000	1,792,596 679,000	57台 3ヶ年で30台以上
ホンデリング	81,950	50,000	50,000	50,000	
その他	69,686	240,000	240,000	240,000	15～17期生各20名 1～2期生各10名
計	5,772,673	6,521,000	7,246,000	7,970,000	
バザー	—	—	(300,000)	—	

(会員等の確保目標と手法—ファンドレイジング3ヶ年目標)

「正会員・賛助会員・寄附者」の確保	HP・FBでの情報発信に加え、3カ年で・正会員、賛助会員個人又は寄附者90名以上・賛助法人、団体又は寄付
-------------------	--

	者120社以上の確保
「支援自販機」の設置	HP・FBでの情報発信に加え、県内に広く広報啓発の広告塔を兼ねた自販機30台以上の設置
「ホンデリング」の実施	HP・FBでの情報発信に加え、積極的な広報活動の展開
「支援募金箱」の設置	HP・FBでの情報発信に加え、県内に広く広報啓発の広告塔を兼ねた募金箱（リフレット付納付書付）を30ヶ以上の設置
「街頭募金」活動の実施	年1回～3回 街頭募金活動の実施 *当センター主催のイベント会場での募金活動を常設化している。
受講料（@8千円）の確保を目指して、期間限定募集広報から年間通じて募集広報を実施するとともに講座開催日を土・日に変更し受講者を増やす。	
寄附者の立場に立った多彩なメニューを導入する。	

<会計報告書>

(収入の部)

科 目	予算額	収入済額	差 額	備 考
委託金	2,990,000	2,992,000	2,000	
和歌山県	(2,990,000)	(2,992,000)	(2,000)	県警察
受取補助金	5,112,000	5,291,000	179,000	
市町村	(2,162,000)	(2,141,000)	(△21,000)	市町村助成金（岩出市・紀の川市・海南市を除く。）
預保納付金	(2,450,000)	(2,450,000)	(0)	預保納付金
赤い羽根	(0)	(200,000)	(200,000)	赤い羽根共同募金
全国ネットワーク	(500,000)	(500,000)	(0)	人材育成モデル事業助成金
受取会費	1,084,000	698,000	▽386,000	
正会員	270,000	220,000	▽50,000	
個人	(270,000)	(220,000)	(△50,000)	個人1万円
賛助会員	814,000	478,000	▽336,000	
個人	(614,000)	(358,000)	(△256,000)	個人2千円
法人	(200,000)	(120,000)	(△80,000)	法人1万円

事業収益	240,000 (240,000)	85,000 (85,000)	▽155,000 (△155,000)	講座受講料
受取寄付金 寄附金	8,408,000 (4,140,000) (2,340,000) (1,878,000) (50,000) (0)	7,111,584 (2,835,603) (2,340,086) (1,846,659) (46,385) (42,851)	▽1,296,416 (△1,304,397) (86) (△31,341) (△3,615) (42,851)	寄附金 主たる事務所整備寄附金 支援自販機寄附金 ホンデリング寄附金 募金箱
受取利息	0	1,279	1,279	利息
計	17,834,000	16,178,863	▽1,655,137	

(支出の部)

科 目	予算額	支出済額	差 額	備 考
給与手当	5,607,000	6,353,870	▽746,870	
福利厚生費	513,000	503,216	9,784	
旅費交通費	1,165,000	1,035,230	129,770	
通信運搬費	688,000	425,009	262,991	
消耗品費	750,000	759,838	▽9,838	
印刷製本費	859,000	929,454	▽70,454	
燃料費	137,000	33,484	103,516	
光熱水料費	180,000	158,531	21,469	
賃借料	3,234,000	3,316,750	▽82,750	
保険料	147,000	132,060	14,940	
諸謝金	3,110,000	1,297,000	1,813,000	流用： ①予算 450 千円（前支援局長 @1,250×5時間×月12日× 6月）を給与手当として支給 したため ②予算 360 千円（アドバイザー （臨床心理士等）@5,000× 6時間×12月）を委託料とし

				て支払したため
支払負担金	100,000	100,000	0	
委託費	872,000	749,800	122,200	
消耗什器	210,000	205,200	4,800	
雑費	262,000	344,853	▽82,853	
修繕料	0	32,700	▽32,700	
租税公課	0	2,900	▽2,900	
減価償却費	0	24,308	▽24,308	
計	17,834,000	16,404,203	1,429,797	

2. 事業別決算（I）について

事業名	予算額	支出済額	事業%	備考
合計	17,834,000	16,404,203		
人件費	6,120,000	6,857,086	42%	事務局長（預保納付金）・支援局長他
①給料手当	(5,607,000)	(6,353,870)		
②福利厚生費	(513,000)	(503,216)		3名分
管理費	1,866,000	1,860,084	11%	事務室等借り上げ料他
事業費	9,848,000	7,687,033	47%	公益事業Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・その他
公益事業Ⅰ（支援）	(4,284,000)	(2,844,357)	(37%)	
①電話相談	431,000	364,356		固定電話4台・携帯電話6台
②面接相談	33,000	0		
③専門相談	180,000	0		
④直接的支援	1,540,000	587,282		直接的支援従事手当他
⑤給付金申請業務	11,000	0		
⑥連携	311,000	87,760		ネットワーク年会費他
⑦移動面接	297,000	183,581		1日移動相談（樫本・田辺）
⑧支援車両借上	877,000	676,152		支援車両リース料他

⑨管理的経費	604,000	945,226		公益会計事務処理委託金他
公益事業Ⅱ（研修）	(2,461,000)	(2,365,096))	
①支援活動員養成講座	758,000	589,080		14期生（前期コース） （後期コース） （専門コース）
②支援活動員養成講	174,000	186,512		
③支援活動員養成講座	217,000	210,805		
④支援対応検討会	60,000	0		1～13期生対象
⑤直接支援員継続研修	250,000	179,209		
⑥近畿ブロック研修	127,000	106,914		・前期（大阪府）1泊2日 ・後期（奈良県）1泊2日
⑦全国研修	249,000	310,640		・東京都 2泊3日
⑧図書費	10,000	0		
⑨管理的経費	616,000	781,936		
公益事業Ⅲ（広報）	(2,713,000)	(2,225,006))	
②「フォーラム&コンサート」	267,000	456,165		開催場所：和歌山市内
③広報ツール制作	500,000	259,200		街頭啓発用リーフレット等印刷
④「命の授業」	488,000	292,195		県内の中高生対象
⑤広報グッズ制作	500,000	403,920		街頭啓発用
⑥「出前講座」	140,000	0		
⑦特別広報委託費	300,000	0		
⑧管理的経費	518,000	813,526		
その他	(390,000)	(252,574)	(3%)	
①ファントレヱジング	390,000	57,678		企業訪問
②地域支援		194,896		地域支援巡回指導経費

3. 事業別決算（Ⅱ）について

	公益Ⅰ （支援）	公益Ⅱ （研修）	公益Ⅲ （広報啓発）	その他 （ファントレヱジング）	管理	計
給料手当	2,049,246	1,047,387	1,047,387	1,800,000	409,850	6,353,870
福利厚生費	113,229	57,869	57,869	251,608	22,641	503,216
旅費交通費	383,520	462,810	179,300	100	9,500	1,035,230

通信運搬費	266,759	19,238	54,318	23,861	60,833	425,009	
消耗什器	0	0	48,600	0	156,600	205,200	
消耗品費	92,647	54,341	532,204	2,203	78,443	759,838	
修繕料	0	0	0	0	32,700	32,700	
印刷製本費	104,557	209,075	502,644	28,266	84,912	929,454	
燃料費	19,058	3,370	11,056	0	0	33,484	
光熱水料費	47,563	0	0	0	110,968	158,531	
賃借料	1,186,777	605,829	375,755	0	1,148,389	3,316,750	
保険料	79,236	0	52,824	0	0	132,060	
諸謝金	562,000	490,000	245,000	0	0	1,297,000	
租税公課費	0	0	0	1,800	1,100	2,900	
支払負担金	40,000	40,000	20,000	0	0	100,000	
委託費	114,000	399,160	114,000	0	122,640	749,800	
雑費	123,690	81,273	89,305	1,448	49,137	344,853	
減価償却費	19,446	0	0	0	4,862	24,308	
計	人件費	2,162,475	1,105,256	1,105,256	2,051,608	432,491	6,857,086
	管理費	0	0	0	0	1,860,084	1,860,084
	事業費	3,039,253	2,365,096	2,225,006	57,678	0	7,687,033
計	5,201,728	3,470,352	3,330,262	2,109,286	2,292,575	16,404,203	
	32%	22%	20%	12%	14%		